

報道関係者各位

2022年5月18日  
国立成育医療研究センター

マタニティクラス等で科学的根拠に基づいた  
アレルギーに関する教育が普及することを期待  
98%の妊婦 生まれてくる子どものアレルギーが心配

国立成育医療研究センター（所在地：東京都世田谷区大蔵2-10-1、理事長：五十嵐隆）のアレルギーセンター大矢幸弘センター長、山本貴和子、犬塚祐介（現、浜松医科大学）のグループは、左合治彦周産期・母性診療センター長の協力のもとアレルギーに関するオンラインマタニティクラスを実施しました。98%の妊婦は生まれてくる子どもがアレルギー発症することを心配していました。全ての参加者は教室内容が役立ったと回答し、今後、このようなマタニティクラスが普及して欲しいと回答しました。この論文は、米国アレルギー喘息・免疫学会の公式国際英文雑誌 *Journal of Allergy and Clinical Immunology: Global* に掲載されました。

【背景・目的】

- ・ エコチル調査から約半分の父親と母親はアレルギーの既往があることが明らかになりました。生まれてくる子どもの多くはアレルギー体質を持つことを意味します。  
Yamamoto-Hanada K, et al. World Allergy Organ J. 2017 Aug 7;10(1):24.
- ・ 以前実施した保護者対象としたアンケート調査では、81%の保護者が妊娠中のアレルギーマタニティクラスがあれば参加したかったと回答していました。  
Yamamoto-Hanada K, et al. Ann Allergy Asthma Immunol. 2020 Feb;124(2):198-200.
- ・ アレルギーに関心や心配がある妊婦は多いと考えられますが、科学的根拠のない情報に振り回されている可能性があります。

【研究手法】

【対象】2021年1月から2021年8月の8か月間にオンラインアレルギーマタニティクラスに参加した妊婦106名（アンケート回答者は92名）

【教室】月に1回 アレルギー専門医によるオンラインクラスを実施

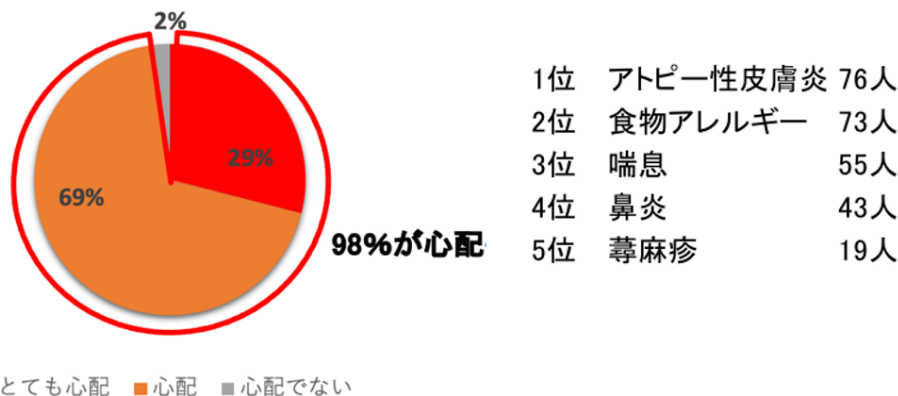
【調査方法】アレルギーマタニティクラス前後で、アレルギー疾患、予防に関するアンケート調査を実施

【研究結果・発表者のコメント】

- ・ 98%の妊婦が生まれてくる子どもがアレルギーになることを心配していました。
- ・ 一番心配なアレルギー疾患はアトピー性皮膚炎で、2番目は食物アレルギーでした。
- ・ ステロイドに対する知識も改善しました。

- ・ 食物アレルギーを予防するには離乳食そのものの開始を遅らせた方が良いという質問に「わからない・そう思う」と回答した妊婦は30%いました。
- ・ すべての妊婦が、教室が役立ったと回答し、このようなアレルギーに関するマタニティクラスが普及することを望んでいました。

## 生まれてくる子が アレルギーになるかどうか心配ですか？



- ・ 国が定めるアレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針でも妊婦に対する適切な指導やアレルギー発症予防を勧奨した対応が求められています。
- ・ 今回の調査で、アレルギーマタニティクラスは妊婦に役立つと考えられました。研究から明らかとなった科学的根拠を一般社会へ普及と実装し、今後マタニティクラスなどでアレルギーに関する教育が普及することが期待されます。

### 【発表論文情報】

- ・ 著者：犬塚祐介<sup>1</sup>、山本貴和子<sup>1</sup>、齋藤麻耶子<sup>1</sup>、赤石理奈<sup>2</sup>、春名めぐみ<sup>3</sup>、松原愛<sup>3</sup>、左合治彦<sup>2</sup>、大矢幸弘<sup>1</sup>

- ・ 所属：<sup>1</sup>国立成育医療研究センター アレルギーセンター  
(国のアレルギー疾患対策中心拠点病院)

<sup>2</sup>国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター

<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科 母性看護学・助産学分野

・ 題名：Dissemination of atopic dermatitis and food allergy information to pregnant women in an online childbirth preparation class.

・ 掲載誌：Journal of Allergy and Clinical Immunology: Global 2022; 1(1): 24-6.

URL：<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S2772829321000059>

・ 研究費：科研費（妊娠中からの児のアレルギー疾患予防ヘルスリテラシー教育プログラムの開発と評価 研究課題/領域番号 17K13214）で実施しました。

### 【問い合わせ先】

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

企画戦略局 広報企画室 近藤・村上

電話：03-3416-0181（代表）E-mail:koho@ncchd.go.jp